

## 平成16年度大学院修了式・学部卒業式

別れを惜しむ雨の降る中、3月22日(火)、愛知県豊橋勤労福祉会館(アイプラザ豊橋)において、平成16年度大学院修了式・学部卒業式が挙行政され、博士後期課程34名、修士課程353名、学部393名の合計780名に学位記が授与されました。

式では、西永頌学長から「さらに激しい競争が繰り返される社会では、常に勝者と敗者が出来ます。21世紀が個の時代だとすれば、人間関係を支え、成り立たせるのは一人一人の謙虚さではないでしょうか。今までに無いユニークなものに挑戦する決意をもち、自分を低いものとする謙虚さを備え、激動の21世紀を歩んでください。」と式辞が述べられました。

引き続き、学生を代表して博士後期課程環境・生命工学専攻の九澤和充さんが答辞を述べ、最後に情報工学系中内茂樹助教授の指揮による吹奏楽団の祝賀演奏で華やかに式は終了しました。



## 平成17年度入学式

雨の上がった4月7日(木)、愛知県豊橋勤労福祉会館(アイプラザ豊橋)において、平成17年度入学式が挙行政されました。学部1年次123名、3年次360名及び大学院工学研究科修士課程384名、博士後期課程28名の合計895名の入学が許可され、代表者による入学者宣誓が行われました。

引き続き、西永頌学長から「技術立国日本において、技術科学は、今後ますます重要なものとなるでしょう。21世紀は地方の時代とも言われています。各地に置かれた大学が地方自治体と協力し合って産業を興し、公害を出さない社会、安全な社会を作っていく必要があります。諸君にも、様々な面で本学の社会貢献の一翼を担って頂きたいと思います。健康に留意し、実りある学生生活を送ってください。」と式辞が述べられ、最後に吹奏楽団による祝賀演奏が行われました。



## 近隣の自治体及び私立大学との協定

平成16年度末から平成17年度初頭にかけて、本学は、豊橋市、田原市、鳳来町、愛知大学との連携・協力に関する包括協定を締結しました。

各自治体との協定は、相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用を図り、産業振興、生涯学習、文化、福祉、まちづくり、人材育成、IT社会や持続可能な社会の構築などの分野で連携・協力することを目的としており、これらの目的を達成するために、具体的な事業の計画策定や、事業の推進について協議する地域連絡協議会をそれぞれ設置しました。

愛知大学との協定は、相互に教育研究、社会貢献等における連携協力を推進することを目的としており、協定や事業の円滑な推進のために設置された豊橋技術科学大学・愛知大学連携協議会での協議に基づいて、学生の単位互換、教員が互いの大学で講座を開講する連携講座、施設の相互利用、共同研究の推進、地域社会との連携・交流などの事業に取り組んでいます。



豊橋市との調印式で早川市長と握手を交わす西永学長



愛知大学との調印式で武田愛知大学学長と握手を交わす西永学長

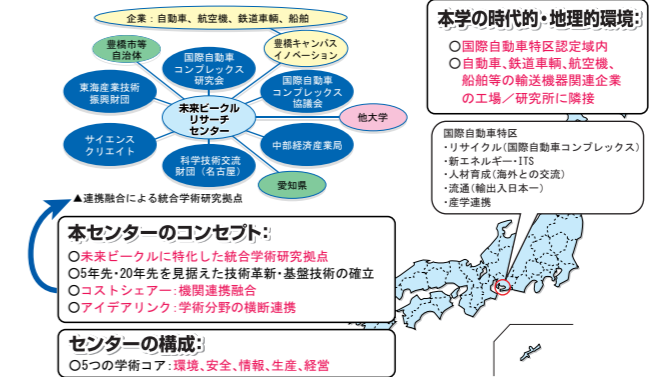
## センターの統廃合について

### 未来ビークルリサーチセンターの紹介 センター長 福本昌宏

文部科学省の認可の下、平成17年4月本学に「未来ビークルリサーチセンター」が設置されました。国立大学の法人化は大学に対し自立自活を求めており、他大学や他の法人化した各種研究機関との熾烈な競争に打ち勝つための戦略として、既存の学術分野を横断的に連携する統合学術研究拠点化が、効果的な方策の一つと考えられます。

本センターの設置は、その魁にあたるものと考えます。近隣の三河湾地域自治体の取り組む「国際自動車特区」内において本学は、学術研究における中核的存在として相応の役割を担う使命を持ちます。

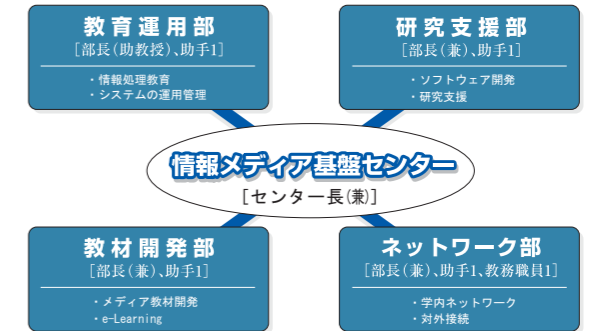
学内関連教員の学際的な連携の下、リサイクル技術の開発を通じた自動車関連中小企業の活性化、また交通事故低減技術の確立等社会的諸問題解決への取り組みを通じ近隣地域社会に貢献するとともに、中部地区ものづくり産業の代表である自動車関連大手企業とも連携し、先端技術科学に係る研究活動の展開を目指します。



### 情報メディア基盤センター センター長 中川 聖一

情報メディア基盤センターは、既存の情報処理センターとマルチメディアセンターを改組統合し、本学の共同利用教育研究施設として、本学創設以来の「実践的・創造的な能力を備えた指導的技術者の養成」及び「開かれた大学」という目標に貢献することを目的として、計算機とネットワークを一体化した大規模な情報処理・マルチメディア教育環境を提供し、それらを利用した教育と研究の支援を行います。

具体的には、学部学生の情報処理教育の支援、教員や学生の計算機環境に関する研究支援、学内及び他大学・高専と連携したe-Learningと教材開発の支援、キャンパスネットワークの効率的な利用・運用・整備を行います。関連する講習会も積極的に計画をしています。



情報メディア基盤センターの組織と業務関係図

## キャンパス探訪⑪「3・4系自習室」

技科大の各棟を結ぶ2階の渡り廊下脇、C棟にガラス張りの「3・4系自習室」があります。ここは元々廊下の一部でしたが、電気・電子工学系と情報工学系の自習室として平成14年度に改築し、現在の部屋を作りました。

研究室へまだ配属していない学生でも、実験や演習で何かとC棟に足を運ぶことが多いものです。そのような学生の便宜を図ることがこの自習室の目的です。ただし、利用法は原則的に学生に任せており、自習の他、歓談や憩いの場などとしても利用されているようです。

廊下脇の小さな部屋ですが、ガラス張りなので適度な開放感があり、また冷房設備を備えているので夏でも快適に利用できます。C棟では、今年度、3階にも新たに自習室を用意しました。2階の自習室と趣は異なりますが、こちらもぜひ利用してみてください。

